



武蔵大学

創立40周年記念演奏会

O Freude, nicht diese Töne!
Sondern laßt uns angenehmere anstimmen
und freudenvollere!

Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken,
Himmlische, dein Heiligtum!
Deine Zauber binden wieder,
Was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder,
Wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wurf gelungen,
Eines Freundes Freund zu sein,
Wer ein holdes Weib errungen,
Mische seinen Jubel ein!
Ja, wer auch nur eine Seele
Sein nennt auf dem Erdenrund!
Und wern's nie gekannt, der stehe
Weinend sich aus diesem Bund.

Friedrich von Schiller

1989.12.11.(月)

練馬文化センター 大ホール

主催 武蔵大学 / 後援 練馬区



Program

学長あいさつ



J. ブラームス 「大学祝典序曲」 作品80

Johannes Brahms “Akademische Festouvertüre” Op.80

L.v. ベートーヴェン

交響曲第9番二短調「合唱付」作品125

Ludwig van Beethoven

Sinfonie Nr. 9 d-moll “Choral” Op.125

I. Allegro ma non troppo, un poco maestoso

II. Molto vivace

III. Adagio molto e cantabile

IV. Presto mit Schlusschor

指揮：橋本久喜

ソリスト／ソプラノ：足立さつき

演奏：武蔵大学管弦楽団

メゾソプラノ：西明美

合唱：武蔵大学創立40周年
記念合唱団

テノール：黒田晋也

バリトン：松本進

合唱指揮：梶取弘昌

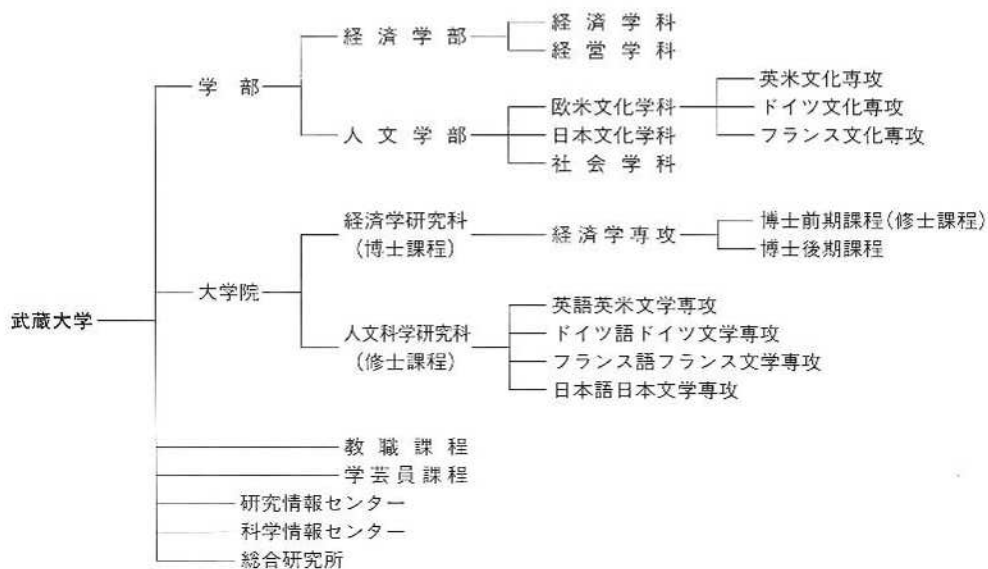
武蔵大学紹介

本学の歴史は、旧制武蔵高等学校にさかのぼるが、これは、明治・大正・昭和にわたり財界の指導的地位にあった東武鉄道の先代社長根津嘉一郎が、育英事業のために財団法人（現在は学校法人）として設立した根津育英会の手になる、わが国最初の7年制高等学校にほかならない。財団法人根津育英会が設立されたのは大正10年9月のことであるが、武蔵高等学校の開校をみるに至ったのは大正11年4月である。そして、昭和24年に新制武蔵大学となり、現在に至っている。この間、旧制武蔵高等学校時代に少数精鋭主義の教育・英才教育は広く世間に知れわたり、現在でもその伝統的な教育方針を受け継いでいる。

◆本学のあゆみ

- 昭和24年4月 学制改革により新制武蔵大学（経済学部経済学科）を設立、同時に武蔵中学校、武蔵高等学校開設
- 昭和34年4月 経済学部経営学科を増設
- 昭和43年11月 朝霞校地に総合グラウンド67,396㎡が完成
- 昭和44年4月 人文学部（欧米文化・日本文化・社会学科）を増設
大学院経済学研究科経済学専攻（修士課程）を設置
- 昭和47年4月 大学院経済学研究科経済学専攻に博士課程を設置
- 昭和48年4月 大学院人文科学研究科（修士課程）英語英米文学専攻、ドイツ語ドイツ文学専攻、フランス語フランス文学専攻、日本語日本文学専攻を開設
- 昭和61年10月 研究情報センター発足
- 昭和63年3月 科学情報センター完成
- 平成元年4月 武蔵大学総合研究所発足

武蔵大学の組織



武蔵高等学校・武蔵中学校

—— 指揮者紹介 ——



橋本 久喜^{ひさよし}

1974年、滋賀県立石山高専音楽科を経て、国立音楽大学ピアノ科入学。同時に指揮法を山田一雄氏に師事。1978年、同音大卒業。二期会副指揮者として活動。1979年、ウィーン国立音楽大学指揮科入学。指揮科主任カール・エストライヒャー教授のクラスに在籍。内時に現代音楽を、フリードリヒ・ツェルハ、オペラ・コレベティをDr・ハラルド・ゲルツ各教授に師事。1982年、同音大を最優秀首席で卒業。オーストリア国立大学最優秀賞受賞。ウィーン国立歌劇場、ウィーン国立音楽大学オペラ科コレベティ、副指揮者として在籍(1980-84)。同年5月には、ウィーン・トーン・キュンストラ管弦楽団を指揮し大成功を取めた。在学中より指揮者としての能力を大きく評価され、オーストリア放送協会、AAI主催の演奏会を指揮、また、ドナウ現代音楽祭に出演し多くの現代曲を初演した。

1981年、ザルツブルグ・モーツァルテウム夏期アカデミーにおいて、歌劇「フィガロの結婚」の公演に対し、ORF指揮者賞受賞。

1983年、プザンソン国際指揮者コンクール3位入賞。オーケストラ特別賞受賞。その後もG・ロジェストヴェンスキー、小沢征爾各氏のもとで研鑽を積む。1985年2月、ウィーン室内管弦楽団定期演奏会を指揮し帰国。国内では、都響、東響、新星日響、京響、関西フィル、山響、九響に客演、また地方オペラ公演の指揮、演出を手掛け好評を博す。

東京コンセルヴァトアール尚美指揮科講師。

—— ソリスト紹介 ——

足立 さつき (ソプラノ)

武蔵野音大及び同大学院に学ぶ。デジーレ・リゲティ、大谷渕子の両氏に師事。二期会、オペラスタジオ第30期修了。'86年、第3回ニッカ椿姫新人賞第1位。'87年、「椿姫」のヴィオレッタ(岡田事務所)でデビュー。'88年の再演にも出演。その他、オペラスタジオ修了公演「こうもり」のアデーレ、東京交響楽団コンサート「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル、「ボエーム」のムゼッタ(リリカ・イタリアーナ)、「魔笛」のママゲーナ(二期会)、等を手がけた。また、ミュージカルやオペレッタにも出演。東芝日曜劇場「冬の歌声(アリア)」にはオペラ歌手役で出演した。コンサートでは、浦和フィル「第九」、日本フィル「ポップス・コンサート」にソリストとして出演した。

現在、二期会会員。



西 明美 (メゾ・ソプラノ)

国立音楽大学、東京芸術大学大学院ソロ科修了。第39回音楽コンクール第3位入賞。声は豊麗で、3オクターブに亘るとする天性の美しいご惑的な音色を持つ。文化庁派遣海外研修員として、ミュンヘン、ミラノに留学。初め、活動は宗教曲及び独唱会に限られていたが、東京オペラプロデュースの「サロメ」のヘロディアスでオペラデビュー。続いて二期会の「ローエンングリン」のオルトルート、「カルメン」のタイトルロール、「トロヴァトーレ」のアズチーナ、「ドン・カルロス」のヨーポリ公女、演奏会形式による「青髭公の城」のユディット、「アイダ」のアムネリス、「リゴレット」のマツタレーナ、「エレクトラ」のクリテムネストウラ等のメゾ・ソプラノの重要かつ難役を次々歌う。一作毎に、歌唱、演技に大きさを増し、オペラに於ける高い評価を確立している。コンサートでもN響定期H-mollミサを始め、新日本フィル定期ワーグナー「ニュルンベルクの指輪」、ヴェルディ「レクイエム」、マラー「復活」、「第九」等で活躍している。

現在、二期会会員、尚美学園短期大学助教授。



黒田 晋也 (テノール)

国立音楽大学及び同大学大学院オペラ科修了。文化庁オペラ研修所第4期終了。

大学在学中より美声を持つ長身のテノールとして注目を集め、「コシ・ファン・トゥッテ」のフェランド、「ドン・ジョヴァンニ」のドン・オッタービオ、「魔笛」のタミーノ等、モーツァルトのオペラの主要な役を大学オペラで演じる。1984年「メリー・ウィドー」のカミーユで二期会オペラに輝くとデビュー。その後、「蝶々夫人」のピンカートン、「ヴォツェック」のアンドレス、「夕鶴」の与兵衛、「セヴィリアの理髪師」のアルマヴィーヴァ伯爵等の大役で成功している。この他、在京地方の代表的な数々のオーケストラに招かれ、ベートーヴェン「第九交響曲」、ヘンデル「メサイヤ」、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」、バッハ「ヨハネ受難曲」等のソロを務めた。NHKのフレッシュコンサート、市民大学等に出演し、いずれも好評を得ている。

1985年より1年間、文化庁芸術家在外研修員として、ウィーンに留学。中山悌一、波多野靖祐、莊智世恵、リリー・カラーの各氏に師事。二期会会員。



松本 進 (バリトン)

国立音楽大学及び同大学院オペラ科に学ぶ。

野崎靖智、平野忠彦、中山悌一の各氏に師事。

1981年7月、二期会「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」の主役、ザックスに急遽代役として出演し、彗星のようなデビューを飾った。その功績が評価され、第9回ジロー・オペラ賞を受賞。82年には文化庁芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーンにて2年間、リリー・カラー女史に師事。

83年に一時帰国し、日生劇場20周年記念、モーツァルト「魔笛」の弁者を歌った。

84年に帰国し、二期会「蝶々夫人」のボンゾ、85年に「魔笛」のババゲーノを好演。

以後も国立音楽大学60周年記念オペラ「秘密の結婚」、日生オペラ「セヴィリアの理髪師」「魔笛の射手」、シノーポリ指揮の「蝶々夫人」のボンゾなど、又、小沢征爾指揮の「戦争レクイエム」や、ベートーヴェンの「第九」、数々の宗教曲のソリストとして、着実に実績を積んでいる。

国立音楽大、東京学芸大、昭和音楽大講師。二期会会員。



梶取 弘昌 (合唱指揮)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。二期会研究生を経て、現在二期会準会員。日本合唱指揮者協会会員。

海津 知子 (練習用ピアニスト)

現在、武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻。4年生。

砂原 恵里子 (練習用ピアニスト)

東京芸術大学音楽学部器楽科、ピアノ専攻にて、中山靖子女史に師事。卒業後ミュンヘン留学。クラウス・シルデ氏に師事。

橋本 節子 (練習用ピアニスト)

国立音楽大学ピアノ科卒業。その後、ウィーン国立音楽大学ピアノ科卒業。田辺融、富田俊子、Prof.ハインツ・メジモレツ、Dr.イレーナ・バルバック教授に師事。ウィーン国際セミナー・コンクール第2位(1980)

グレゴール・ヘーフリーガー (ドイツ語指導)

現在、武蔵野大学人文学部教授。

武蔵大学管弦楽団

指揮者	橋本久喜	顧問	清水誠
弦トレーナー	池田弘	団長	山谷卓史
〃	廣嶋嘉人	副団長	大坪昌彦
管トレーナー	飯笹浩二	コンサートミストレス	山下敏子

Violin

高島寛之(欧4)
木村玲子(欧4)
黒田雅子(社4)
平岡真佐子(欧4)
★岩田智樹(欧3)
○鈴木淳子(日3)
○永江彩子(日3)
山下敏子(欧3)
大塚栄子(社2)
蒲生曉与(経2)
小屋純子(社2)
高田真理(社2)
濱田郁子(欧2)
小野将彦(社1)
加藤恵美(欧1)
染谷陽子(日1)
田中康子(日1)
飛田綾子(日1)
野々村真秀(社1)
小村健(OB)
田内晴子(OG)
橋本玲子(OG)
田所いつ子(団友)
池田弘(賛助)
岡田英宏(賛助)
小形計治(賛助)
小川有美子(賛助)
小野口泰(賛助)
久保田敬一(賛助)
甲田智子(賛助)
佐藤明子(賛助)
清水久美(賛助)
竹内千尋(賛助)
冬城純一(賛助)

Viola

○宮部正人(営3)
浅野明子(社2)
内山真人(営2)
鈴木絵理子(欧1)
友部佳津子(日1)
大沢一博(OB)
柿木生与(OG)
前田久美(OG)
伊藤まり(OG)
倉田譲(OB)
荒井朋子(賛助)
伊藤成治(賛助)
佐々木弘美(賛助)
倉橋弘(賛助)
長島庸子(賛助)

Violoncello

赤坂浩幸(日4)
小沢尚子(欧4)
○水谷奈ほの(日3)
内田紀子(日2)
馬場隆弘(欧2)
早乙女晴美(日1)
吉川文雄(OB)
向山多佳子(OG)
神田光子(OG)
貝原正三(賛助)

Contrabass

占川正剛(営4)
○大谷修司(営3)
廣石浩(社2)
河田晃幸(社1)
森山芳隆(OB)
武富正人(OB)
廣嶋嘉人(賛助)
岡田友希(賛助)
鈴木陽子(賛助)

Flute

○永江享子(日2)
福島麗子(欧1)
竹本純子(OG)

Oboe

亀原永子(欧3)
大坪昌彦(日2)
○平直子(日2)
庄司美穂子(社1)
中多誠二(OB)

Clarinet

久保田玲子(欧4)
○熊野久(経2)
山田幸乃(日2)
一瀬直美(欧1)
大久保友香(日1)

Fagott

小故島俊之(営4)
○三村仁子(欧3)
野口葉子(日2)
小林功一(営1)
広瀬貴郎(OB)

Horn

木幡克志(経4)
大坂信之(日4)
板倉奈百恵(日4)
今井武(営4)
後藤尚人(営4)
○斉藤由加利(欧2)
石井玲子(社1)
狩谷智則(経1)

Trumpet

○小林正和(社3)
★横原康二(日3)
大村佳子(日2)

Trombone

○山谷卓史(営3)
阿部美奈子(社2)
金子創造(日2)
中村友香(賛助)

Tuba

佐久間敬一(賛助)

Percussion

& Timpani

小田崇史(賛助)
斉藤由紀子(賛助)
高田透(賛助)
村尾利奈(賛助)

★インスペクター

○パートリーダー

